



令和6年2月29日 令和5年度盛岡二高PTA通信 第2号 PTA広報委員会

# 盛岡二高PTA通信

- ▼ 目次
- ▼ PTA会長挨拶／校長挨拶
- ▼ 白梅振興会挨拶／高P連動報告
- ▼ PTA活動報告
- ▼ 学年通信
- ▼ 特集 保健室ってどんなところ
- ▼ 部活動成績
- ▼ 二高点描／編集後記

12 10 08 05 04 03 02



## 二高点描

二高では7月から12月に様々な行事が行われました。その一部を写真で紹介します。

**7月**

7/12 校内合唱コンクール

**9月**

9/28 大学訪問

**8月**

8/25-26 二高祭

**9月**

9/25 避難訓練

**10月**

10/24 震災学習会(1年)

**10月**

10/30 生徒総会

**10月**

10/5 大学模擬授業

**11月**

11/28 三学年ダンス発表会

**12月**

12/22 クリスマスコンサート

**12月**

12/15 タオル帽子講習会

### 令和5年度 広報委員

- |      |                |
|------|----------------|
| 委員長  | 松本 育 句 (3A 莉穂) |
| 副委員長 | 木村 芳 枝 (2E 美咲) |
|      | 佐々木 まり (3C 姫衣) |
|      | 浅沼 佐知子 (3E 来実) |
|      | 泉 里 美 (2A 祐生)  |
|      | 山本 洋子 (2A 愛)   |
|      | 渡辺 ひとみ (1B 華恋) |
|      | 岡田 美香 (1E 琴)   |
|      | 加賀谷 洋子 (1E 采琶) |

### 編集後記

今年度も、お陰様で第二号を発行することが出来ました。寄稿や取材にご協力頂いた皆様ありがとうございました。

さて今年度は、学校行事も制限なく開催されたこともあって、紙面に掲載したい写真が沢山ありました。まさにここ数年無かった嬉しい悲鳴です。白梅娘達のマスクの下は、こんなにも表情豊かで、笑顔に溢れていたんだと、とても感慨深く思いました。

第二号の発行は、折しも卒業式間近。今年は、年明け早々思いもよらない出来事が続きましたが、これ以降は、甲辰の年に相応しく沢山花開く年になることを願うばかりです。そして、ここから飛び立つ白梅娘達の新しい門出に、幸多からんことを願っています。

副編集長 木村 芳枝



PTA会長  
藤澤 秀行

### コロナ禍を乗り越え、 更なる躍進を

皆様には日頃より、PTA活動にご支援、ご協力いただきまして感謝申し上げます。

令和5年度も保護者の皆様や先生方のご協力で活動を進めてまいりました。5月に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、コロナ前と同じ学校風景が戻りつつあるのがうれしいところです。

特にも8月に開催された「二高祭」は、4年ぶりに入場制限を無くし、保護者・地域の方々にも二高生の日頃の文化活動の成果を見ていただくことができました。生徒たちも力を合わせて部活動やクラス発表を準備し、当日は模擬店やお化け屋敷を楽しみ生徒たちの笑顔と歓声が印象的でした。PTAとしてはパンの販売と餅撒きを行いました。二高祭以外にも、PTA通信（広報委員会）、PTA研修旅行（研修委

員会）、挨拶運動（健全育成・母親委員会）など多くの行事を行うことが出来たのも偏に各委員の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

PTA活動で学校に伺うたび、校内から聞こえてくる吹奏楽部の演奏や応援委員会のかけ声に、文武両道に励む二高生のいまの姿を感じ取る事ができました。旧校舎の資材を階段などに活用していることを知り、改めて本校の127年の長い歴史と、その伝統の中で学ばせていただいていることに感慨を覚えました。

校外のPTA研修会に参加した際、高校生を取り巻く環境の変化が進んでいることを実感しました。県高P連主催の母親会交流会で、もりおか女性センターの高橋和佳子副センター長を講師にお招きし、「知っておきたい性の多様性のこと」と題して講演をいただきました。LGBTQの方々への理解など、その内容について家庭でも話題になりましたが、高2の娘の方が理解があり、私たち親世代も意識を変えていく必要があると感じました。3年生の皆さんは、この春から進学、就職とそれぞれの道へと進みます。在学中に触れた「白梅精神」を心に、文武両道と可能性への挑戦を続け、社会で輝く卒業生として花開くことを心から願っています。



校長  
鈴木 広樹

### 変化への対応

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、深いご理解と多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、例年より早く季節性インフルエンザが流行したため、今年度も、感染予防を意識した生活を余儀なくされました。そうした厳しい状況の中でも生徒たちは一生懸命学校生活を送り、多くの部や委員会が全国大会等へ出場するなど、大いに活躍してくれました。

さて、私たちの社会は、テクノロジーの急速な発達により、これまで経験したことのない速さで大きく変化しています。その対応にご苦労されている方も多いのではないのでしょうか。進化論を唱えたダーウィンは、「この世に生き残る生き物は最も力の強いものか、そうではない、最も

頭のいいものか、そうでもない、それは変化に対応できる生き物だ」という考えを示したと言われていますが、今あらためてその意味を痛感しています。

このような変化の激しい、行き先不透明な、厳しい時代をこれから生きていく子どもたちには、変化に対応する力、すなわち「適応力」を身につけてほしいと思います。そのために盛岡二高は、学校生活を通して、「基礎的な知識・技能を修得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力」、徳「自らを律し、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性」、体「たくましく生きるための健康や体力」の3点をバランスよく育てることに、教職員一同尽力して参ります。

最後になりましたが、本校はこれからも社会に對して「開かれた学校」となり、家庭や地域社会等と連携・協力して、大切な子どもたちを育てていくという視点に立った教育活動を展開して参りますので、保護者の皆様には、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 文化部

#### 書道

- ▼第18回岩手日報高校書展
  - 日報大賞 澁田優歩・熊谷悠衣
  - 秀逸賞 大津里佳子

#### 美術

- ▼第24回高校生国際美術展
  - 奨励賞 大津里佳子
- ▼第28回全日本高校・大学生書道展
  - 優秀賞 大津里佳子
  - 佐々木美枝
  - 千葉七望

#### 音楽

- ▼第46回岩手県高等学校総合文化祭書道部門
  - 最優秀賞 大津里佳子
  - 優秀賞 澁田優歩・熊谷悠衣
  - 優秀賞 ※櫻井仁美
  - ※R6全国高総文祭へ
- ▼第64回全国書道展
  - 大東書道大賞 大津里佳子
- ▼第32回書の甲子園
  - 優秀賞 熊谷悠衣
  - 秀作賞 大津里佳子・柴垣琴乃
- ▼東北地区優秀賞
  - 盛岡第二高等学校
- ▼第52回岩手県書道作品コンクール
  - 岩手県知事賞 熊谷悠衣

#### 第46回岩手県高等学校総合文化祭 美術工芸展

- ▼絵画
  - 特賞 ※刈宿舞
  - ※R6全国高総文祭へ
  - 入選 中村姫愛・和合奈緒子・和田黎子・工藤七海
- ▼デザイン
  - 入選 佐々木胡葉紅・佐藤和奏・宮林和
- ▼第35回読書感想画岩手県コンクール
  - 自由図書 最優秀賞 ※菊池果穂
  - ※中央(全国)コンクールへ
  - 優秀賞 稲川藍里・沖凜咲・千葉結心
  - 奨励賞 宮林和
  - 指定図書 優秀賞 杉若美那

#### 第4位 文学研究

- ▼第46回岩手県高等学校総合文化祭文芸部門令和5年度岩手県高校生文芸コンクール
  - 団体 文芸部誌部門優良賞
  - 個人 詩部門最優秀賞 ※淵澤春風
  - 詩部門優良賞 因幡咲希
  - 詩部門入選 大久保美桃
  - 短歌部門入選 大久保美桃
  - 短歌部門優秀賞 城戸柚里奈
  - 短歌部門入選 高宮花那
  - 俳句部門入選 山内花音
  - 俳句部門優秀賞 大久保美桃
  - 小説部門入選 阿部杏海
  - 小説部門最優秀賞 ※山内花音
  - 小説部門優秀賞 高宮花那

#### 吹奏楽

- ▼第61回岩手県吹奏楽コンクール
  - 高等学校の部 銀賞
- ▼第46回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門発表会(第48回岩手県高等学校演劇発表会)
  - 生徒講師部門 優良賞 石岡美優
- ▼第46回岩手県高等学校総合文化祭第42回岩手県高等学校器楽コンクール
  - 団体 優良賞

#### 委員会

- ▼第70回NHK杯全国高校放送コンテスト
  - 入選 アナウンス部門 杉本結良
  - 朗読部門 準々決勝 平沼諒子
- ▼第47回全国高等学校総合文化祭放送部門
  - 入選 アナウンス部門 杉本結良
  - 朗読部門 準々決勝 平沼諒子

#### 合同展

- ▼第46回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼第41回岩手県高等学校放送新人大会
  - 優秀賞 ※「アス勉三國志」
  - 優良賞 ※高橋穂乃花
  - ※赤澤凛
  - ※吉田絢香

#### 美術

- ▼第33回全日本合唱コンクール
  - 高校部門A 金賞
  - ※R6全国高総文祭へ
- ▼第75回全日本合唱コンクール
  - 高校部門A 金賞
- ▼東北支部大会
  - 高校部門A 銀賞
- ▼第33回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト
  - 金賞
- ▼第33回日本クラシック音楽コンクール
  - サクソフォン部門 高校の部

#### 第38回全国高等学校文芸コンクール

- ▼第38回全国高等学校文芸コンクール
  - 団体 文芸部誌部門奨励賞
  - 個人 詩部門入選 佐々木椿
  - 俳句部門入選 淵澤春風

#### 第42回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会

- ▼第42回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
  - 個人 出場 吉田陽果・矢羽々葉南

#### 第46回岩手県高等学校総合文化祭

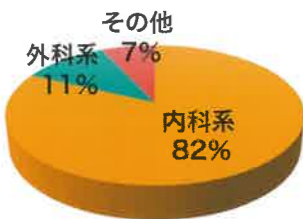
- ▼第46回岩手県高等学校総合文化祭
  - 出場 朗読部門 三上真優・宮林和
  - ※東北大会出場

# 保健室の掲示物



女子生徒ならではの悩みや症状に対する対処法やアドバイスが多数掲示されています

## 令和4年度 保健室利用割合



風邪、偏頭痛、感染症などの内科系で利用する生徒が82%、部活や登下校でのケガなどで利用するケースが11%、その他の症状は7%となっています。また、曜日別では、月曜日の保健室利用率が最も多い状況です。



学校管理下で発生した傷病で受診した場合、スポーツ振興センターの申請対象となります。詳しくはQRコードでチェックしてみてください。



## 広報委員会

委員長 松本育句

広報委員会は、年2回のPTA通信の発刊に携わっております。広報委員の役割は、保護者の皆様にPTA活動を知っていただくこと、普段見ることが出来ない部活動や学校行事をお伝えすることだと思っております。先が見えなかったコロナ禍もやっと終息を迎えつつあり、数年ぶりに当たり前の日常生活を取り戻し、PTA通信第1号では、マスク越しではない素顔の白梅乙女達の笑顔をお届けできたと思っております。高校生ともなると保護者が校舎の中に入る機会もなかなかありませんが、体育祭で写真を撮りながら間近で観戦できたこと、普段お話しする機会のない先生方や保護者の皆様と交流できたことは、広報委員としての醍醐味だったと感じております。

第2号の特集では、知っているようで保護者は知らない「保健室」を題材にしております。子供達が一度はお世話になったことがあるけれど、実は知らなかった保健室。ぜひご覧ください。

本号の発刊で1年間の活動が終了となります。取材や原稿作成にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



## 研修委員会

委員長 山田麻衣子

研修委員会では、4年ぶりに令和5年6月、宮城県へ研修旅行を実施することが出来ました。これまでコロナ禍の為、オンラインや、パンフレットだけで情報を何とか集め、進路の参考にしてきましたが、今年度は東北福祉大学、宮城女子学院大学の二校に受け入れをいただき、校舎内の見学や、先生方の説明等を聞き、実際見聞きしなければ分からない実感を両大学で感じ取る事が出来ました。

コロナが5類となり、実際に見学に行きやすくなったとは言え、なかなか、各家庭だけでは、行きにくい部分も今年度はまだ残っていたかと思うので、こうして「盛岡二高」として見学出来たことはとても貴重な体験となりました。昼食は学年の垣根を超え、ホテルで美味しい食事をいただきました。

次年度も実施される方向で予定が組まれるかと思っておりますので、一、二年生の保護者の皆様には、ぜひ色々な視点から、お子さんの進路の参考の一つとなるよう、たくさんの方に参加していただけたら、と思っております。先生方には様々な準備をしていただきましたことに感謝申し上げます。



## 健全育成委員会

委員長 小原祥子

去年一昨年と活動が制限され今年は果たしてどうなるのかと心配しましたが、委員の皆様を始め担当の先生方の企画力と行動力のお陰で無事に活動を行うことができました。

健全育成委員会の活動は母親委員会の皆様と共に、「文化祭のPTAコーナーと餅まき」「登校時の一声運動」でした。

文化祭ではまずPTAコーナーでパンを販売し、生徒や保護者・地域の方々等触れあえる機会をいただきました。そして餅まき。今年度「委員会の方からも餅まきを」と担当の先生からありがたいお声を掛けていただき、一緒に餅をまいたことが楽しい思い出となりました。

一声運動では昇降口に立ち挨拶運動をしました。様々な反応を見せる生徒の姿に微笑ましくも暖かい気持ちにさせられました。

それぞれの活動には多くの反省点や改善点がありましたが、次年度からの活動に生かしていただけたらと思います。

最後になりますが改めて委員の皆様と担当の先生のご協力があったからこそ活動を終えることができました。とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。



## 母親委員会

委員長 及川有希子

母親委員会は健全育成委員会の皆さまと共に活動させていただきました。主な活動は、二高祭でのパンの販売や餅まき、登校時一声運動などでした。今年度はCOVID-19が5類へ移行となるも、まだまだ制限がある中での活動でした。しかしながら、二高祭は一般公開もあり、生徒の日頃の活動の成果を見ることができたり、普段とは違う生徒の姿を見ることができたり、思い出に残る文化祭に関わることができ、よかったと思っています。また、登校時一声運動は、以前まで交通安全を兼ねてコンビニ前で行っていましたが、交通量が多いなどの理由から、今年度は校舎前で見守りという形で行うことにしました。朝の短い時間の中ではありましたが、当たり前気持ち良い挨拶ができる生徒を誇らしく感じる共に、日頃の先生方の指導にも感謝しております。

あっという間の一年間でしたが、一緒に活動していただきました委員会の皆さま、担当の先生方、大変お世話になりました。本当にありがとうございました。





【 試されたその先の成長  
3学年副主任 小林 香織 】

まさに光のごとく時は過ぎ去り、あっという間に卒業の時を迎えようとしています。3年生にとってコロナ禍とともに始まった高校生活はいろいろと試される高校生活だったのかもしれない。

やっとコロナが落ち着きを見せ、3年生になってからは様々な行事が復活し始めました。生徒たちは体育祭、文化祭など、自分たちが下級生の時に先輩たちの様子を見ていないにもかかわらず、自分たちでアイデアを出し合い協力しながらそれらを成功に導きました。今までマスクの下に隠れていたきらきらの笑顔をお互いに見せながら、貴重な3年間の高校生活に思い出を刻めたことでしょうか。

行事が一通り終了し、次はいよいよそれぞれの未来に向き合う時期が始まりました。入試制度は刻々と変化しており、デジタル化やWeb出願など、臨機応変に対処していかなければなりません。今の子どもたちはまさにAI時代突入の中にいる世代です。今後ますます変化していく時代の流れに乗りながら、なおかつ人間として自分の頭で考え、意見を持ち、それを的確に表現できる力が必要です。受験を通して生徒たちは確実に未来に向かって歩み始めています。

保護者の皆様、3年間ご支援頂き、心より感謝申し上げます。3年生がこの二高からさらに大きく羽ばたいていくことを願っております。

【 開け梅花！  
3学年副委員長 岩淵 貴子 】

つい先日入学したと思ったら、もうすぐ卒業式を迎えます。親である私自身も、子どもを通して二高生活を堪能させていただき、感謝しています。

コロナ禍も落ち着き出して、修学旅行や体育祭、文化祭が盛り上がり成功裏に終わったことも素晴らしい思い出ですが、1・2年生の時に合唱コンクールがハミングコンテストになったのも、印象深かったです。制限がある中で、それを逆手に取って楽しむ、ユニークな学校だと思いました。その根幹にあるのは先生方の熱意だと思いますが、その熱意は、受験期に入って、さらにひしひしと感ずることになりました。子どもが秋に英検を受けたのですが、「大学受験が終わったら、次の級の勉強をしませんか」と先生が提案してくださったというのです。二高の先生方は、進路のことだけでなく、その先の未来のことも考えて応援してくださっているのだと感じて、胸がいっぱいになりました。

素晴らしい3年間をありがとうございました。二高のますますのご発展と、卒業生・在校生の皆さんのご活躍を祈っています。

【 最後の一年を前に  
2学年副主任 田村 善伸 】

「中だるみ」が起きやすいと言われる2学年ですが、学校の「中核」となれるように一人一人の成長に期待しながら「動」（自ら動く。人や物事を動かす。）をテーマにスタートしました。この1年足らずの様々な活動を通して、少しずつ成長してきたと思います。部活動や生徒会活動では、引退した3年生から受け継ぎ、すでに中心となって活躍しています。その中で生徒たちは、目標を持って努力することや自らの責任を果たすことによって、知らず知らずのうちに人の心を動かしてきたように思います。

体育祭、合唱コン、文化祭、ようやく従来通りの形で実施できるようになり、修学旅行も予定通りに終わることができました。生徒達の生き生きとした活動や溢れる笑顔を見ることができました。人と触れ合うことで、楽しみながら絆を深め、周囲への配慮が出来るようになったのではないのでしょうか。

気が付くと、もうすぐ3年生です。高校生活すべてのことが「最後の〇〇」となります。きっと、今年以上に早く過ぎてしまいます。勉強も部活動もやれる時間は限られています。高校生活の一つ一つが終わっていきます。「もう少し早くやればよかった。」と後悔しないように、進路目標を明確にし、見通しを立てて今すぐに動き出しましょう。

生徒達の充実した高校生活と進路目標達成のためにサポートしていきますので、保護者の皆様におかれましても、引き続きご協力をお願いいたします。

【 青春ってすごく密なので  
2学年副委員長 猿橋 恵美 】

昨年度の夏の甲子園の仙台育英高校監督の優勝インタビューのコメントをご記憶でしょうか？日本中が感動の渦に吞まれ、私自身も涙が止まらなかったのを覚えています。

この学年は中学2年生のときにコロナ禍が始まりました。たくさんの行事や部活動の大会等が中止、縮小開催になりました。中学校の修学旅行は県内日帰りバス遠足でした。残念ではありましたが、子供達の事を思い中止にせず出来る範囲で実施に向けてご尽力頂いた関係者の皆様に感謝致します。ありがとうございました。

先日、行って来ました！修学旅行！京都大阪USJ！子供達のマスクを取ったはじける笑顔の写真を見ました。いいですね～！そして密ですね～！青春ですね～！

高校生活もあと1年。それぞれ路を決めて進んで行かなければなりません。悩んだり泣いたり怒ったり笑ったりたくさんする事でしょう。頑張れ二高生！応援しています。密な青春にエールを。





成長の1年

1学年副主任 大野 浄美

4月の入学式から、早いもので1年が過ぎようとしています。コロナ禍の下で3年間を過ごしてきた新入生がこれからのような表情を見せてくれるのか、と期待と若干の不安を感じながらのスタートでした。しかし、想像以上に豊かな表情を見ながら充実した1年を過ごすことができました。

昨年までは外部で行っていた体育祭や文化祭も学校開催に戻り、その中で1年生はそれぞれの役割を果たしながら、クラスの絆を深めつつ、行事全体を支えてくれました。さらに行事を充実したものになりたい、と、主体的に考えて動こうとする姿もありました。

また、夏休みには総合的な探究の時間の一環として「美-project」に取り組みました。「美」についてさまざまな観点から考え、その結果を一人一人が自分の言葉でクラス全体に向けて発表しました。さらには、10月には陸前高田市において震災学習とボランティア活動に取り組み、そこから見えてきた地域の課題をグループごとにまとめ、発表するという取り組みも行いました。

そのような取り組みの中で、これからの繋がる多面的な物事の見方や、他者に伝える力が徐々に身につけてきています。その上で、高校での学習はどうあるべきか、進路希望をどうするか、という新たな課題に向き合い、悩みつつも成長しようとしている1学年の生徒たちを受け止めて学校に送り出していただいたご家庭の皆様へ感謝いたしますとともに、今後ともサポートをよろしくお願いいたします。

高校生の母より

1学年副委員長 横田 いずみ

心躍る桜花爛漫の入学式。北国では珍しいその情景を、その時の心情を、忘れないで欲しい。その時から、母である私は心配と感動の連続。

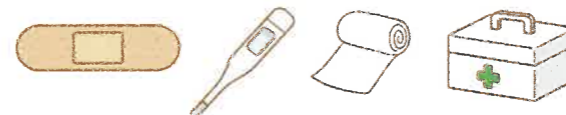
相談されたら、一緒に色々な選択肢を見つけ、私の言葉が娘の意思の邪魔にならないように、娘自身が決断できるように、出たところ勝負の私には長い時間、ただ見守る。決心を聞いたら応援する。時には不安で、意思が揺らぐこともあり、一歩戻ったとしても、前に進むための休息だと、ただ見守る。

中学生までは、私の意見を聞いて行動していた娘に、今はもう大人として自分で行動を決め、結果が良くても悪くても反省し、未来の自分のために、経験や知識をどんどん増やして欲しい。成功したら共に喜ぼう。失敗したら、私の失敗談を飽きるほど話して聞かせよう。

私は高校生の母1年生。2年生に向けて、娘と共に頑張ります。

二高の保健室

ってどんなところ？



生徒が一度はお世話になったことがある保健室。保護者の方は知っているようで、実は見たことがない方も多いのではないのでしょうか？  
今回は二高の知られざる保健室をご紹介します。

養護教諭 上野律子先生

出身学校 千葉県立養護教諭養成所（閉所）

先生から一言

バランスのとれた朝ごはんをしっかり食べて登校するようにして下さい。本校は間食する生徒が大変多いです。お菓子ではなく、バナナやスルメ、チーズがオススメです。



学校で起こったケガに対応できるように医療材料が収められています。



保健室は意外に広いです。安心できる雰囲気があります。



運動部

- 陸上
  - 第75回岩手県民体育大会 陸上競技大会
    - 走高跳 小網由華 3位
    - 走高跳 田村莉有 8位
  - 第28回東北高等学校新人陸上競技選手権大会
    - 走高跳 小網由華 3位
    - 走高跳 小網由華 4位
  - 第40回岩手県高等学校女子駅伝競走大会
    - 7位 伊藤・大沢・太野・八重樫・増田
  - 2023岩手県秋季陸上競技大会
    - 走高跳 小網由華 4位
  - 第52回東北高等学校体操競技選手権大会
    - 個人総合 飯塚日葵
  - 第50回東北総合体育大会体操競技
    - 団体 飯塚日葵 3位
  - 令和5年度全国高等学校総合体育大会体操競技
    - 個人総合 飯塚日葵
- 第71回岩手県高等学校新人大会
  - 団体 飯塚日葵・佐藤聖華・野川悠羽・小笠原明音 2位
  - 個人総合 飯塚日葵 4位
  - 種目別ゆか 飯塚日葵 3位
  - 第31回東北高等学校体操競技選抜大会
    - 団体 飯塚日葵・佐藤聖華・野川悠羽・小笠原明音 8位
    - 個人総合 飯塚日葵 15位
    - 種目別ゆか 飯塚日葵 8位
  - 特別国民体育大会体操競技
    - 団体 飯塚日葵
  - バスケットボール
    - 第44回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会兼第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会岩手県予選大会 ベスト8
    - 第69回岩手県高等学校新人バスケットボール大会
      - 出場
    - 令和5年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会
      - 岩手県予選会 出場
    - 令和5年度全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県予選会
      - ベスト16
  - 卓球
    - 第71回岩手県高等学校新人大会バレーボール競技
      - ベスト8
    - 全国高等学校総合体育大会
      - 団体 出場
      - ダブルス 佐藤詩華・吉田真枝 シングル 佐藤詩華 2回戦
      - 東北総合体育大会
        - 団体 佐藤詩華・小野寺絢 6位
      - 全日本選手権ジュニアの部県(右手選抜)
        - 2次予選 シングル 鈴木姫風 第3位
        - ベスト8 吉田真枝 小野寺絢
      - 第69回岩手県高等学校新人大会
        - 団体 優勝
        - ダブルス 吉田真枝・小野寺絢 第2位
        - ベスト8 鈴木姫風・佐藤七星 シングル 吉田真枝 優勝
      - 第47回東北高等学校選抜卓球大会
        - 団体 第3位
      - ※全国大会出場
      - ソフトテニス
        - 第67回岩手県高等学校新人大会ソフトテニス競技
          - 個人 2回戦 盛田紗彩・武藤優芽
    - ハンドボール
      - 第16回岩手県高等学校秋季ハンドボール大会
        - ベスト8 松倉光咲・花籠真奈 少年女子・試合
        - 第3位 泉祐生 特別国民体育大会なぎなた競技少年女子
        - 第28回岩手県高等学校新人なぎなた大会
          - 出場 泉祐生
          - 団体 泉祐生・因幡暖・熊谷美希・米田彩未 第1位
          - ※全国大会出場 渡辺は菜
        - ※全国大会出場
          - 個人 泉祐生 第1位
          - ※全国大会出場
        - 演技
          - 第2位 米田彩未・因幡暖
          - 第3位 泉祐生・熊谷美希
        - 第21回東北高等学校なぎなた選抜大会
          - 団体 泉祐生・因幡暖・熊谷美希・米田彩未 第4位
      - なぎなた
        - 令和5年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技
          - 団体 佐藤あかね・藤澤楓愛・泉祐生・因幡暖・熊谷美希・米田彩未・山口柚葉
        - 令和5年度全国高等学校総合体育大会なぎなた競技
          - 演技 佐藤あかね・藤澤楓愛・泉祐生・因幡暖・熊谷美希・米田彩未・山口柚葉
          - 出場 泉祐生・佐藤あかね
        - 第50回東北総合体育大会なぎなた競技
          - 演技 泉祐生・佐藤あかね



白梅振興会会長 村上 智加子

マサラタウンを出るまでに

会員の皆様の白梅振興会の活動に  
 対するご理解、ご協力に感謝申し上げ  
 げます。  
 今年も二高生は多くの活動におい  
 て、素晴らしい成果を上げました。  
 生徒の皆さんの努力に敬意を表しま  
 す。一方、思うような結果を得られ  
 ず悔しい思いをしている方もいらっ  
 しゃることでしょう。しかし、日々  
 の皆さんの活動を支えることが、白  
 梅振興会の役割です。活動に打ち込  
 んできた皆さんの力になれたのであ  
 りば、これ以上に嬉しいことはありません。

11月下旬に福井県に出張する機会  
 がありました。行きは人と会う約束  
 があったので、東京から東海道新幹  
 線で名古屋→米原→福井、帰りは、  
 福井から金沢に出て、北陸新幹線で  
 大宮までと、中部地方をグルッと一  
 周したことになります。  
 帰途、新幹線が長野県にさしかか  
 ると車窓から、南アルプスの山々が

見えました。昨年二高を卒業した娘  
 が、山梨県の大学に進学しています。  
 山梨側から見ていた南アルプスを長  
 野側から眺めながら、長野で下車し  
 て美しい林檎を持って訪ねて行っ  
 たら娘は喜ぶかな、と思いました。  
 しかし、サークルを四つも掛け持ち  
 している娘はきつとアパートにはい  
 ないでしょう。娘が山梨県に進学す  
 る時には、「家から通える大学がたく  
 さんあるのに。」と思いつつも、娘  
 の選択を尊重しました。しかし、離  
 れて暮らすのは親にとつては寂しい  
 ものです。それを娘に伝えると、ポ  
 ケモンに喩えながらこんなことを言  
 いました。「盛岡はホントにいい所  
 美味しいものもたくさんあるし、買  
 い物も便利。自然が身近にあるから、  
 温泉もすぐに行けた。盛岡は、マサ  
 ラタウンだよ。でもポケモンはマ  
 サラタウンを出て修行して強くなる  
 じゃん。私も進化したいからさー」  
 そうだね、山梨で自分の居場所を作  
 り出して頑張っているんだね、と寂  
 しくも頼もしい成長です。  
 親子一緒に過ごせる時間は意外に  
 短いものです。どうか、生徒の皆さ  
 んは二高での生活を、保護者の皆さ  
 んは子どもとの生活を、思いっきり  
 楽しんで下さい。

高P連活動報告

総務課 菅原研

令和5年8月24日(木)・25日(金)、  
 カメイアリーナ仙台等6会場で行わ  
 れた第72回全国高P連宮城大会に、  
 鈴木校長と菅原事務局長の2名で参  
 加してきました。24日(木)の分科会  
 はカメイアリーナ仙台の第2分科会  
 「学校教育」に参加し、宮城県の高校生  
 による合唱映像の上映の後、「ICT  
 で広がるキャリアデザインの光」と  
 というテーマで行われた基調講演とパ  
 ネルディスカッションを興味深く拝  
 聴しました。講師は広島工業大情報  
 学部情報コミュニケーション学科教  
 授の安藤明伸氏、パネリストは東京  
 学芸大学大学院准教授の登本洋子氏、  
 宮城県教育庁高校教育課主幹の岡田  
 康佑氏、仙台市立仙台青陵中等教育  
 学校PTAの植木徹郎氏でした。25  
 日(金)の全体会は、「白A」によるブ  
 ロジエクシオンマッピングの後、仙  
 台育英学園高校野球部監督の渡部敦  
 氏による記念講演が行われました。  
 23日(水)に夏の甲子園の決勝戦が行  
 われた(結果は準優勝でした)ばか  
 りというタイミングでの講演という  
 こともあり、多くの参加者が強い感  
 銘を受けるものとなりました。

なお、それに先立って、令和5年7  
 月7日(金)には福島市のパルセイ  
 ざかで開催された第72回東北地区  
 高P連福島大会に、村上智加子前P  
 T A会長と菅原事務局長の2名が参  
 加し、村上前PTA会長が東北高P  
 連役員として感謝状を授与されま  
 した。原町高校箏曲部や福島高校ジャ  
 ズ研究部、福島商業高校吹奏楽部な  
 どの高校生発表を間に挟みつつ、研  
 究協議と、気象予報士齋藤恭紀氏に  
 よるユーモア溢れる講演が行われま  
 した。

以上、コロナ以降久しぶりとなる  
 高P連大会への参加は、非常に有意  
 義なものとなりました。

